



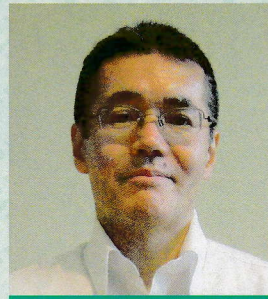
会長
佐々木 秀幸

月日の流れは速いもので、昭和から平成へ、そしてあっという間に令和も2年目に入り、ゆったりと構えてられないのでは…。

先生方の職務が極めて多忙となっていることに、保護者、支援本部、そして運営協議会（CS）が、ともに可能な

範囲内において、学校運営に協力、支援をしていこうということで作業が進んで参りました。本年度も「教員の働き方改革」をテーマとして、保護者、地域住民として先生方の負担を少なくするために、私達ができることを探るため懇談会を開催し、問題点を共有することができたと思います。今後は如何に具体化していくかが課題となるでしょう。

生徒の皆さんはもうすぐ3年間の中学生生活を終えて、次のステップへと羽ばたいて行きます。寂しさと逞しさを痛感している今日この頃です。



校長
今橋 英次

教員の仕事は、終わることがありません。生徒指導、放課後の部活動、授業準備やテストの採点、行事の準備、保護者からの問い合わせ、教育委員会への提出物などさまざまな仕事が重なり合って、しかも一つが終わればまた一つと永遠に続いていきます。

とりわけ中学3年生の担任は複雑な進路事務が加わり残業時間は膨大になります。

学校では、生活指導や進路指導など教員にしかできない仕事が多くあります。逆に、採点や出席状況のまとめなど同じことを繰り返す事務作業も多くあります。前者を軽減することは容易ではありませんが、後者は、ICT機器を活用したり外部人材に委託したりすることなどでいくらかは負担軽減が可能です。教員定数を増やすことがもっとも有効な方法ですが、現時点ではもっとも実現が難しい解決策でしょう。

教員一人一人の意識を変え、保護者や地域の方々の協力を得ながら意図的・計画的・組織的な業務改善を進め、「働き方改革」を進めていきます。

学校運営協議会メンバー



深沢委員 中川委員 馬場委員 金子委員
又木副会長 佐々木会長 松田委員

編集後記

今回初めて、先生方、保護者の方、運営協議会のメンバーと懇談会ができました。

この懇談会を毎年年度の始めにすることができれば、PTAも支援本部も運営協議会も、もっと学校をサポートすることができるのではないかしら…。

年度の始めで、どこも自分たちが軌道に乗ることで手一杯かもしれないけれど、井荻中学校に関わるという点でお互いを理解し同じ目線で進んでいくために、ちょっと頑張るって時間を作れると生徒の良い学びの機会を増やし、笑顔を増やすことができるのではないかと感じます。

井荻中学校を囲む大人たちがONE TEAMとなって生徒の学びのより良い環境を作っていきたいと思いました。

